

町田町、新田、彌々、勒町、本町、江戶より十三里十八町餘、天正十六年七月、千葉介邦胤卒し、十一月、北條氏政がはからひにて、新館を此地に營み、那胤の長女東をして居しむ。

佐倉の本町は元鹿島宿と云、千葉家本佐倉に治城のをりふりだしの宿なり、今猶繼場は此宿にてつとむと云、

〔令條記二十九〕定

下總國佐倉より東におゐて、しがみ錢取遣べし、但われ錢かけ新錢、ゑらび可申事、

慶長十一年七月廿三日

對馬守判 大炊介判 備前守判

〔吾妻鏡一〕治承四年九月十四日癸亥、下總國千田庄。領家判官代親政者、刑部卿忠盛朝臣聳也、平相國禪閣通其志之間、聞目代被誅之由、率軍兵欲襲常胤、依之常胤孫子小太郎成胤、相戰、遂生虜親政、訖、

〔吾妻鏡五〕元暦二年元○文治十月二十八日丁丑、片岡八郎常春、同心佐竹太郎常春、有謀叛企之間、被

召放彼領所下總國三崎庄、畢、仍今日賜千葉介常胤、依被感動節等也、

〔吾妻鏡六〕文治二年三月十二日庚寅、關東御知行國々内、乃貢未濟庄々、召下家司等、注文被下之、可加催促給之、由云云、今日到來、

注進 三箇國庄々事下總、信濃、越後、等國々注文

合

下總國 三崎庄殿下御領 大戸神崎同 千田庄 玉造庄三井寺領 匝瑳南庄熊野領 印東

庄成就寺領 白井庄延曆寺領 千葉庄八條院御領 船橋御厨院御領 相馬御厨同前 下

河邊庄八條院御領 豐田庄按察使家領 橘並木内庄二位大納言 八幡略中

右注進如件